

平成27年度第1回箕面市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

開催日時	平成28年1月28日(木) 10:00～12:00
開催場所	箕面市役所 2階 特別会議室
出席委員数	10名
欠席委員数	3名
傍聴者数	4名

・ 案件

【案件1】ペットボトルの全戸収集状況について(報告)(資料1)

【案件2】箕面オリジナル「ゆずる完熟堆肥」の販売について(報告)(資料2)

【案件3】 その他

(1)ごみ処理施設基幹改良工事・長期包括運営委託について(資料3)

(2)カセット式ボンベ・スプレー缶の出し方について(資料4)

	<p>【案件1】ペットボトルの全戸収集状況について(報告)</p> <p>・事務局説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
委員	<p>ペットボトルの回収実績について、思ったほど増加していないがどうしてか。</p>
委員	<p>戸別収集は便利であるが家で保管すれば嵩張るので、買い物時にスーパー等の回収箱へ持って行っている。</p>
委員	<p>戸別回収については、夏場以外はあまり出ていないので、悪いから近くのスーパーに出している。</p>
委員	<p>団地に住んでいるので、あまり保管する場所がないため、ほとんどスーパーに持って行っている。</p>
委員	<p>どれぐらいの量のペットボトルがごみで出されているのか。</p>
事務局	<p>箕面市内では年間約400t出されているが、スーパー等は独自処理しているので回収量については反映されていない。</p>
事務局	<p>回収量についてペットボトル自体の材質が薄くなったことも影響している。また、マイボトルの普及も影響していると考えられる。</p>
事務局	<p>燃えるごみの中にどれぐらいのペットボトルが入っているのかを、2月に昨年と同</p>

	<p>地域で組成分析を実施し検証する。</p>
会長代理	<p>戸別収集の数量が増加しないので、回収回数を月2回から4回にすれば増加するのではないか。また、広報や啓発活動をもっとすればいいのではないか。</p>
会長	<p>マイボトル化やペットボトル自体の軽量化等により回収量があまり増加していないのが現状である。</p> <p>また、本件は廃プラスチックのモデル収集からペットボトルのモデル収集を経て、平成27年4月から全戸収集に至った経過等を検証し、事務局として報告をする必要がある。</p> <p>【案件2】箕面オリジナル「ゆずる完熟堆肥」の販売について(報告)</p> <p>・事務局説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
委員	<p>もっと取扱店舗を増やしてほしい。</p>
事務局	<p>他の店舗にもお願いしたが協力を得られなかった。また、販売店舗については今後も増やしていきたい。</p>
委員	<p>この堆肥はどんなものに効用があるのか。</p>
事務局	<p>葉もの野菜に効果がある。</p>
事務局	<p>この堆肥の名称及び販売についてグループモニターを募集して、商品化に向け種々ご意見をいただき、モニターさんの意見等を反映させて商品化したものである。</p>
委員	<p>通信販売は、今後考えているのか。</p>
事務局	<p>今は市内の店舗のみで販売しているが、今後は市外及び通販も検討していきたい。</p>
会長代理	<p>堆肥を生産から販売まで行っているのは、非常にめずらしい。また、市民の意見も聞いているので生産と販売がうまくいっている。</p>
委員	<p>本庁や支所でも販売してはどうか。</p>
事務局	<p>店舗の拡大を含め検討していきたい。</p>

	<p>【案件3】 その他</p> <p>(1)ごみ処理施設基幹改良工事・長期包括運営委託について</p> <p>・事務局説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
委員	ごみ処理施設基幹改良工事・長期包括運営委託は入札で行うのか。
事務局	総合評価方式やプロポーザル方式等の方式をすべて加味して入札する。
委員	入札で落札した場合の業者に対する担保はどうなっているのか。また、その会社が倒産したらどうするのか。委託内容の精査が必要であるのではないか。
事務局	<p>長期又は短期契約であっても受託者の倒産等の事情は当然生じるものであり、担保を明確にする必要がある。</p> <p>また、委託等に関し他市も導入しているので、それらすべての状況を踏まえ、判断・検討していく必要がある。</p>
委員	他の市町村で実施しているところはあるのか。
事務局	大阪府内では、高石市が実施しているので参考にする。
	<p>(2)カセット式ボンベ・スプレー缶の出し方について</p> <p>・事務局説明</p> <p>【主な質疑応答】</p>
委員	市民にとっては安全で利便性が向上した。
委員	穴を空けないというのは全国的なことか、箕面市独自か。
事務局	今後は穴を空けないで出すことが、全国的なことになると思われる。また、大阪府下では半々の市で穴を空けて出している。
委員	出し方と処分についてはどうか。
事務局	かご容器に入れて、穴を空けずに出してもらおう。
会長	市民へ徹底を図ることが重要である。
委員	相当な数になるのではないか。処理はどうするのか。

事務局	まず回収して工場に持ち帰って穴を空けて中身をすべて出して適正に処理する。
委員	以前穴開けができなくて、置いてあるボンベ等も出していいのか。
事務局	そのままの状態です。
委員	自分では使い切ったつもりであるが、穴を空けると結構な量が出てくるので、実際は残っていることが多い。
会長	文字が多くてわかりにくいので、もっと整理してわかりやすくしてほしい。
事務局	広報担当に出す前段であるので、これから広報担当で精査され、わかりやすいチラシになると思われる。
会長	ライターの取扱についてはどうか。
事務局	危険ごみで出してもらっている。
会長	他にご質問等は、あるか。 特にないようなので、今日の審議会は終了する。 次回の日程をお知らせ願いたい。
事務局	次回の案件等は未定であり、決まり次第ご案内する。
会長	以上をもって、平成27年度第1回箕面市廃棄物減量等推進審議会を終了する。